

第46回人間情報学会オーラルセッションにて最優秀賞を受賞 ～生体情報を用いた精神障害者が働きやすい執務空間に関する研究～

生体情報をウェアラブル技術で可視化するWINフロンティア株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長兼CEO：板生研一）は、間仕切りで新たな価値を創造する間づくりカンパニーのコマニー株式会社（本社：石川県小松市、代表取締役社長執行役員：塚本健太）と、障害者就業支援を通じて“誰もが自分らしく生きる社会”を目指す株式会社スタートライン（本社：東京都三鷹市、代表取締役：西村賢治）と共に、2023年12月14日に開催された「第46回人間情報学会オーラルセッション」にて発表した内容が、研究を社会実装する観点にて評価され、最優秀賞を受賞したことをお知らせします。

2018年に改正された障害者雇用促進法により、法定雇用率の算定基礎に精神障害者が追加されたことで、精神障害者の雇用が促進されている一方、1年の雇用定着率は49.3%（※）と、他の障害者に比べても低い現状があります。また、近年の働く世代において、うつ病などの精神疾患を患う人が増加しており、精神疾患は身近なものになっていますが、うつ病などを含めた精神障害者の働きやすい執務スペースのあり方は明らかになっていません。

そこで、3社は共同で精神障害者が働きやすい執務スペースのあり方に関する研究を2021年9月13日より開始。障害者の就労支援を行う社会福祉法人釧路のぞみ協会自立センター（事務所：北海道釧路市、所長：高谷さふみ）の協力のもと、コマニー株式会社のパーティションを用いた「空間創造」、株式会社スタートラインの障害者雇用支援サービスで培った「障害者支援の知見」、WINフロンティア株式会社のウェアラブル技術を活用した「生体情報の可視化」という、それぞれの強みを活かし、精神障害者が働きやすい執務スペースのあり方に関する共同研究を進めています。

第46回人間情報学会オーラルセッションでは、これまでの研究の一部をテーマにして発表。内容において審査員から高い評価を受け、最優秀賞を受賞しました。

※2017年発行（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構、

調査研究報告書 No.137「障害者の就業状況等に関する調査研究」より引用

第46回人間情報学会オーラルセッション 最優秀賞 受賞テーマ名

生体情報を用いた精神障害者が働きやすい
執務空間に関する研究

—その2 開放度合いの異なる5つの
ソロワークスペースでのストレス比較—



大会最優秀賞 賞状

■今後の取り組みについて

WINフロンティア株式会社は、本研究成果を基に、精神障害者をはじめ多様な人々が自分らしく働ける快適空間の研究をさらに推進してまいります。ウェアラブル技術を活用した生体情報センシングを軸に、心身の健康や幸福感を高める革新的なソリューションを提供し、社会全体のウェルビーイング向上に貢献してまいります。

<参考資料>

■ 第46回人間情報学会について

<https://www.npowin.org/j/mt/mt91.html>

■ 第46回人間情報学会予稿集（本件の内容はシート11～12に掲載）

http://www.ahi-soc.info/pdf/46thAHI_proceedings.pdf

■ 共同研究の概要

名称 : 「精神障害者が働きやすい執務スペースのあり方」
参加メンバー : コマニー株式会社、株式会社スタートライン、WINフロンティア株式会社
研究の目的 : 障害者の有無に関係なく働ける職場環境実現のために、精神障害者が働きやすい執務スペースのあり方を明らかにする
活動開始時期 : 2021年9月13日より活動開始

■ 共同研究会社について

・コマニー株式会社

COMANYは、オフィス、工場、病院・福祉、学校、公共・商業施設などあらゆる空間で、機能性やデザイン性を追求した空間・間仕切製品をご提供します。

「間づくり」を通して、すべての人が光り輝く人生を送るために、より良く働き、より良く学び、より良く生きるための持続可能な環境づくり、人づくりに貢献し、間づくりでEmpower all Lifeを実現していきます。

・株式会社スタートライン

ABA（応用行動分析）やCBS（文脈的行動科学）、第三世代の認知行動療法に基づいた効果的で専門的な支援で、障害者雇用の新しい「場」づくりから定着支援までワンストップで実現する会社です。

「自分をおもいやり、人をおもいやり、その先をおもいやる。」の企業理念のもと、2009年創業以来、障害者雇用支援の領域において障害者の「採用」と「定着」に重きを置き、障害者雇用支援サービスサポート付きサテライトオフィス「INCLU」を運営。障害者雇用に関する総合コンサルティングを軸に、屋内農園型障害者雇用支援サービス「IBUKI」、ロースタリー型障害者雇用支援サービス「BYSN」、企業/障害当事者向けカスタマイズ研修、在宅雇用支援、障害者採用支援などサービスメニューを拡充しています。一つでも多くの選択肢をつくり、多様な人々の可能性を拡張することで、誰もが自分らしく生きる社会を目指しています。

【会社概要】

WINフロンティアは、東京大学発のNPO法人WIN（ウェアラブル環境情報推進ネット機構）のコア技術をベースに、自社開発した解析アルゴリズムを使用して、心拍変動による生体情報の可視化を行っています。これまでに、企業や大学、自治体の商品やサービスに関して数多くの感情解析の実証実験を行っております。また近年は、働き方や健康の価値が問われる中、ワークプレイスや空間における集中、クリエイティビティ、ストレスに関する実証実験や健康経営のサポートにも力を入れています。実証実験においては、最先端の生体情報の知見や心理学の学術研究の視点を盛り込み、ウェアラブル技術を活用した最適な実験をご提供しています。生体情報センシング技術と行動科学のエビデンスに基づき、人々のウェルビーイングを高めることに貢献する企業です。